

お取引先様 各位 シアテック設計・監理実績のご案内

『日本エイアンドエル株式会社 研究開発センター新築工事』

皆様におかれましては、ますますご発展のこととお喜び申し上げます。

日頃は格別のご愛顧を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

今回は弊社の設計・監理により2018年4月に竣工しました、『日本エイアンドエル株式会社 研究開発センター新築工事』についてご紹介させていただきます。

同社は、住友化学グループの一員として、ABS樹脂とSBRラテックスの製造を担当され、高度な技術開発により、多様化するニーズに対応した優れた製品づくりに取り組まれています。

この度、大阪府高石市にあった研究施設を愛媛に統合すべく、愛媛工場構内へ研究開発センターを新築しました。また、本建家の建設にあたり、建設予定地には協力会社の作業場や事務所等があったため、本PJの一環でそれらの移転工事も行いました。

【施設概要】

- 構造規模：鉄骨造2階建て
- 1階：ABS樹脂の造粒・成形室、ロッカー室、洗身室
- 2階：試験室、執務室、会議室

建築計画において、本建家は様々な部門(加工・試験・品管・事務)が集約されているため、それぞれの作業の関連性を考慮した室配置とし、作業の効率化を計りました。また各々の動線が交錯しない平面構成としました。

構造計画では、作業の連続性や安全性に配慮し、柱本数を減らした大空間を確保しました。

空調計画では、1階造粒・成形室は大空間で天井も高いため、省エネに配慮し、全体空調でなく、人の作業範囲に限定したスポット空調を採用しました。また2階試験室は外部からの熱負荷を低減させるよう室内の断熱性・気密性を高めました。



【道路側(西)からの外観】



【内部 ABS樹脂造粒室】

弊社は、住友化学グループの土建設計のエンジニアリング部門として使命と責務をもって、お客様の要望事項を満足させる設計はもちろんのこと、経済的なご提案も行っております。今後とも最適な技術とこれまでに蓄積したノウハウの活用により、誠意をもってお客様の想いを形にするお手伝いを行ってまいります。

- 以上 -